

学校だより

東京都立北特別支援学校

令和8年 1月30日発行

2月号

本校の「教育目標」について～過去の変遷から感じること～

校長 村上 卓郎

本号では、教育目標の変遷を通して、本校がこれまで何を大事にしてきたのか、について述べてみます。本校の教育目標は、これまで3回改訂されています。①昭和40年度（学級増、校舎増築の整備等のタイミング）、②昭和53年度（子供の実態に合わせるため）、③平成20年度（学校の名称が「東京都立北特別支援学校」になった時）の3回です。

ここで共通して言えることは、どの改訂の時も、子供たちのことを第一に考えていたということです。過去の本校の資料を調べてみると、例えば「児童・生徒の実態に即して」、「教育の可能性を信じて」、「子供のもつ能力を充分に発達させるため」、「どんな子供に育てたいか」など枚挙にいとまがありません。ここでは、②昭和53年度以降の教育目標を見てみます。

【教育目標 昭和53年度～】

- 生きる意欲をもち、健康を維持し、体力を養い、障害を科学的に克服する。
- 基本的な学力を養い、確かな考え方をもち、自主的行動する力をつける。
- ふれあいや体験を広げ、ものごとに感動し、豊かな心をもつ。
- ともに生きる考え方をもち、よりよい社会をつくる力をつける。

最初の○に「科学的に克服」とあります。その当時の資料を見てみると、今でも十分に中心に据えることのできる考え方で次のように示されています。

「私たちが児童・生徒と関り、指導する時に主観的、経験的な知識や、直感にのみ頼るのではなく、具体的に検証された知識の蓄積に裏付けられた体系的な理論に基づいて児童・生徒を正しく捉えて関わり、また指導の結果をも科学的に分析・評価し、実践を深めていくことが大切である。」



開校20周年(昭和58年)当時の本校

ここで示された「具体的に検証された知識」、「科学的に分析・評価し、実践を深めていく」という考え方は、本校の伝統と呼んでよいのかもしれません。これまでの諸先輩の功績をよく把握し温故知新でしっかりと受け止め、子供たちの未来のためにつないでいきたいと考えています。

そして来年度は自立活動の充実に向けて、自立活動の時間の指導と各教科等の指導との関連付け、個別指導計画における評価等で「児童・生徒を正しく捉えて関わり」、「科学的に分析・評価をし」、「実践を深めて」いくための検討を進める予定です。

【御参考】

自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

出典：[特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編](#)



本校の梅の花:筆者撮影

学校だより別紙

★才セロ大会

(文責：番場 優太)

令和7年度東京都特別支援学校 第34回総合文化祭才セロ大会が12月5日(金)に本校を会場として行われました。今年度も対面会場とオンライン会場の2会場に分かれて行い、本校からは、4名の児童・生徒がエントリーをしました。体育館で行われた対面会場では、全4校の学校の児童・生徒の皆さんが緊張している様子が見られましたが、対戦相手と談笑をしたり、同じ学校の選手同士で情報交換をしたりしている様子が見られ、才セロの対戦だけではなく、児童・生徒同士の交流も楽しんでいました。オンライン会場では、誰が優勝するのか分からないほどに、非常に白熱した試合が繰り広げられていました。

★生徒会選挙

(文責：黒川 淳行)

12月15日(月)に生徒会役員選挙が行われ、高等部1年生より生徒会長、中学部2年生より副会長、そして中学部・高等部から6名の役員が新たに選出されました。

選挙に先立ち、北区選挙管理委員会の方を講師に迎え、選挙の仕組みや投票方法について学ぶ出前授業を実施しました。模擬選挙などを通して、社会参加への理解を深めることができました。

生徒会選挙当日は演説や応援演説が行われ、緊張しながらも自分の思いを伝え、仲間を支える姿が見られました。選挙を経て、新たなメンバーによる生徒会がスタートします。新生徒会が力を合わせて学校生活をよりよくしていこうと主体的に活動できることを期待しています



★図書室より

(文責：枚田 節)

図書室にはいろいろな種類の本があります。

- ・**大型絵本**：通常サイズの絵本より大きなサイズの絵本です。北特別支援学校では、『ぐりとぐら』や『はらぺこあおむし』『だるまさんが』等、子供たちに人気の絵本も大型絵本でも揃えています。授業や、学校図書館支援員(司書)による読み聞かせ会で頻繁に使われています。
- ・**音の出る絵本**：音の出る絵本は、絵本に音が出るしきかけ(ボタンやハンドル、電話機等のおもちゃ)が付いていて、ボタンを押したり、ダイヤルやハンドルの部分を回したりすると、動物の鳴き声や音楽、働く車のサイレンの音等が鳴ります。
- ・**L-Lブック**：短い文章と、写真や絵、ピクトグラムで誰もが読みやすいように構成されています。L-Lブックの“L-L”は、スウェーデン語の“LättLäst(やさしく読みやすい)”の略語です。
- ・**点字の本**：点字の本は、触って読む文字(点字)で書かれた本です。中には、図形や絵に凹凸が付いており、指先で触れて形などを確かめることができるよう工夫しているものもあります。

是非手に取って御覧ください。